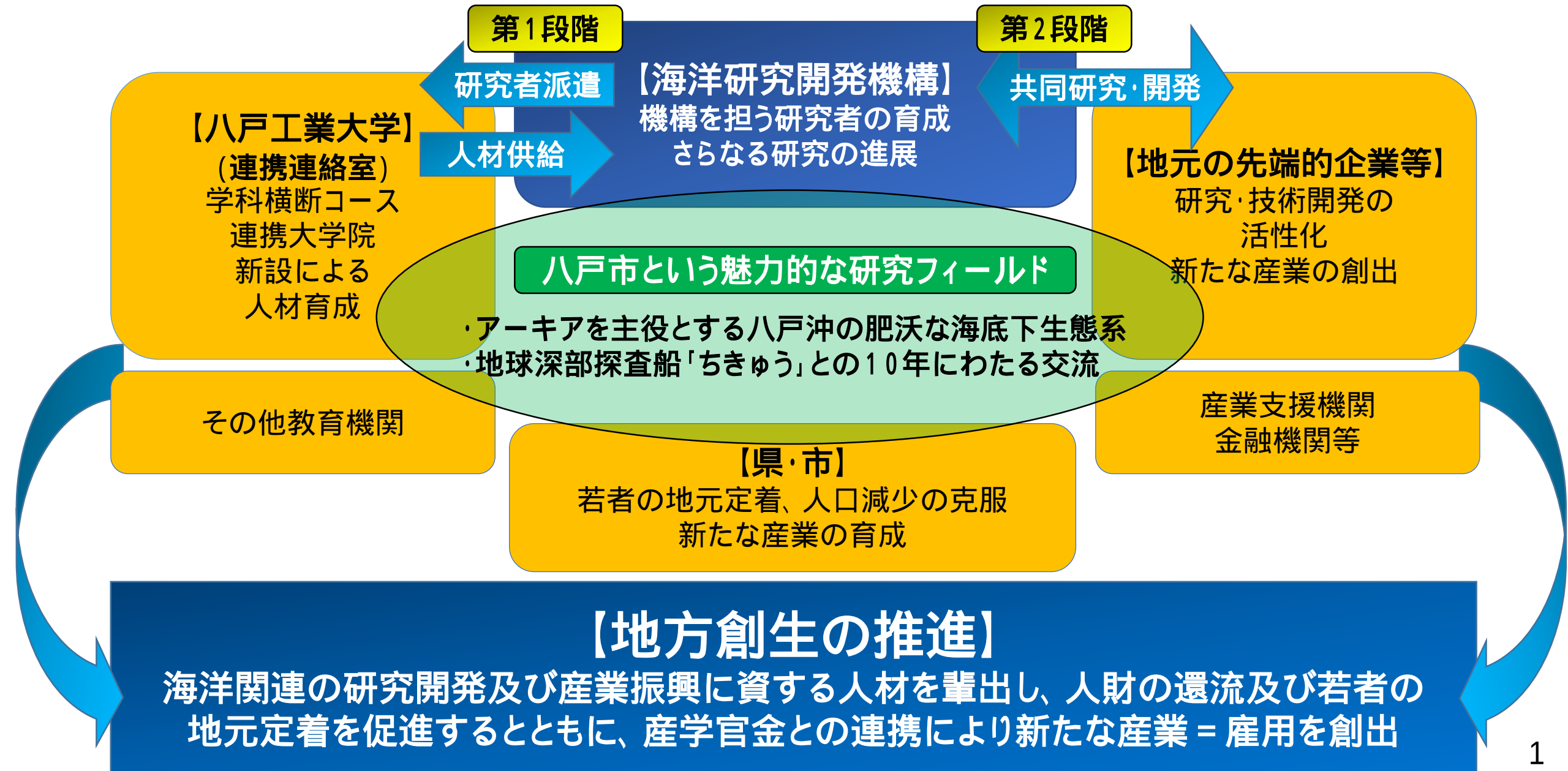


研究機関・研修機関等の今後の取組概要

移転対象地域	対象機関	移転の概要	ページ 番号
青森	(独)海洋研究開発機構(JAMSTEC)	海洋分野における人材育成等を図るため、海洋研究開発機構の連携拠点の設置	1
宮城	(独)水産総合研究センター(水研センター)	地域拠点を生かした漁船漁業の経営安定に資する共同研究の展開	2
秋田	(独)教員研修センター	言語活動指導者養成研修の実施	3
山形	(独)国立がん研究センター	がんのメタボローム研究分野の研究連携拠点の設置	4
福島	—	イノベーション・コースト構想におけるロボットテストフィールド、国際産学連携拠点の設置	5
新潟	(独)医薬基盤・健康・栄養研究所	新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院との研究連携に向けた協議会の設置	6
富山	(独)教員研修センター	キャリア教育指導者養成研修の実施	7
富山	(独)医薬品医療機器総合機構	アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所の設置	8
富山	国立医薬品食品衛生研究所	天然物医薬品分野での研究連携拠点の設置	9
石川	(独)情報通信研究機構(NICT)	NICTと石川県による包括協定の締結を通じた、北陸StarBED技術センターの機能拡充	10,11
石川	(独)産業技術総合研究所(産総研)	炭素繊維分野をはじめとした県内企業との研究連携拠点の設置	12,13
石川	(独)国立美術館	東京国立近代美術館工芸館の移転	14
福井	(独)理化学研究所(理研)	加速器を用いた生物照射の研究や利活用のため、理化学研究所仁科加速器研究センターの協力による育種研究連携拠点の設置	15
福井	(独)水産総合研究センター(水研センター)	水産研究連携を推進するため、「海洋生物資源国際研究センター(仮称)」の新設への協力を実施	16
福井	(独)産業技術総合研究所(産総研)	福井県の重点産業関連の研究連携拠点の設置	17
福井	(独)教員研修センター	小学校における外国語教育指導者養成研修の実施	18
山梨	森林技術総合研修所	現地研修拠点の設置	19
長野	自衛隊体育学校	自衛隊体育学校の合宿の実施	20
岐阜	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	宇宙教育活動における連携	21
岐阜	森林技術総合研修所	現地連携研修の実施	22
静岡	(独)水産総合研究センター(水研センター)	水産研究の連携拠点の設置	23
愛知	(独)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)	花きに関する研究連携拠点の設置	24
愛知	(独)産業技術総合研究所(産総研)	窒化ガリウム半導体研究連携拠点の設置	25

移転対象地域	対象機関	移転の概要	ページ 番号
三重	(独)教員研修センター	外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修の実施	26
滋賀	(独)国立環境研究所	湖沼環境研究分野の研究連携拠点の設置	27
京都	(独)情報通信研究機構(NICT)	京都府のスマートシティ構想実現に向けた、情報通信研究機構との研究連携体制の構築	28
京都	(独)理化学研究所(理研)	脳科学分野やAIに関する地域イノベーション創出のため、理化学研究所と地域の大学・企業等との共同研究の展開	29
大阪	(独)医薬基盤・健康・栄養研究所	国立健康・栄養研究所(組織全体)の移転	30
兵庫	(独)理化学研究所(理研)	産学連携体制の強化のための連携拠点の設置	31
鳥取	(独)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)	ナシ研究の連携拠点の設置	32
鳥取	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	職業能力開発総合大学校の調査・研究機能の一部移転	33
島根	(独)国際協力機構(JICA)	開発途上国の行政官等を対象とした青年研修等の研修機能の一部移転	34
島根	(独)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)	畜産研究機能の強化のため、大田研究拠点の拡充	35
岡山	森林技術総合研修所	現地連携研修の実施	36
岡山	自衛隊体育学校	自衛隊体育学校の合宿の実施	37
広島	(独)理化学研究所(理研)	広島大学が所有するイノベーションプラザを活用したライフサイエンス共同研究拠点の設置	38
山口	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	防災分野等におけるリモートセンシング利用技術の研究、人材育成、国際連携、災害対応の強化のため、宇宙航空研究開発機構の衛星運用や利活用拠点の設置	39
山口	(独)水産総合研究センター(水研センター)	水産研究の連携拠点の設置	40
山口	防衛装備庁艦艇装備研究所	艦艇装備研究所の機能拡充に合わせた補完的な研究拠点の設置	41
香川	(独)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)	野菜研究機能の強化のため、四国研究センターの拡充	42
愛媛	(独)海上技術安全研究所	造船技術力強化を図るための連携拠点の設置	43
高知	(独)海洋研究開発機構(JAMSTEC)	海洋分野における地域イノベーションの創出等を図るため、海洋研究開発機構の連携拠点の機能拡充等	44
福岡 (福岡市)	(独)理化学研究所(理研)	理化学研究所、九州大学、福岡市の三者による連携協定に基づく応用化学分野等における地域イノベーション創出に向けた連携拠点の設置	45
福岡 (久留米市)	(独)理化学研究所(理研)	福岡県におけるバイオ産業振興のため、理化学研究所と地域の大学・企業等との共同研究の展開	45
福岡	(独)産業技術総合研究所(産総研)	水素材料強度研究連携拠点の設置	46
福岡	環境調査研修所	環境調査研修所の研修拠点の設置	47
佐賀	(独)医薬基盤・健康・栄養研究所	薬用植物資源研究センター筑波研究部との研究連携に向けた協議	48
熊本	環境調査研修所	環境調査研修所の研修拠点の設置	49
大分	(独)国際交流基金	「日本語パートナーズ事業」に係る一部機能の移転による研修拠点の設置	50

青森県JAMSTEC提案の全体像



気仙沼市における地域拠点を生かした漁船漁業の経営安定に資する共同研究の展開

漁業現場のニーズを踏まえた研究が行われ、研究成果が漁業現場に十分フィードバックされるよう、
まずは、平成28年度中に研究・連携体制を検討し、漁船漁業の経営安定に資する共同研究を実施。

気仙沼市

- ・全国屈指の漁船漁業基地であり水産加工業他関連産業も盛ん
- ・東日本大震災からの復興を着実に進めている
- ・開発調査センターの研究開発の拠点に適した地域

研究・連携体制の検討

宮城県、気仙沼市、地元漁業団体

研究・連携体制の
検討への参画

漁船漁業の経営安定に資する共同研究

- ・漁獲物の鮮度保持
- ・効率的流通
- ・漁法開発

共同研究の実施



研究成果の漁業現場への十分なフィードバック
全国の沖合・遠洋漁業の抱える諸問題の解決

国立研究開発法人 水産総合研究センター (神奈川県横浜市)

- 水産資源の持続的な利用のための研究開発
- 水産業の健全な発展と安全な水産物の安定供給のための研究開発
- 海洋・生態系モニタリングと次世代水産業のための基盤研究

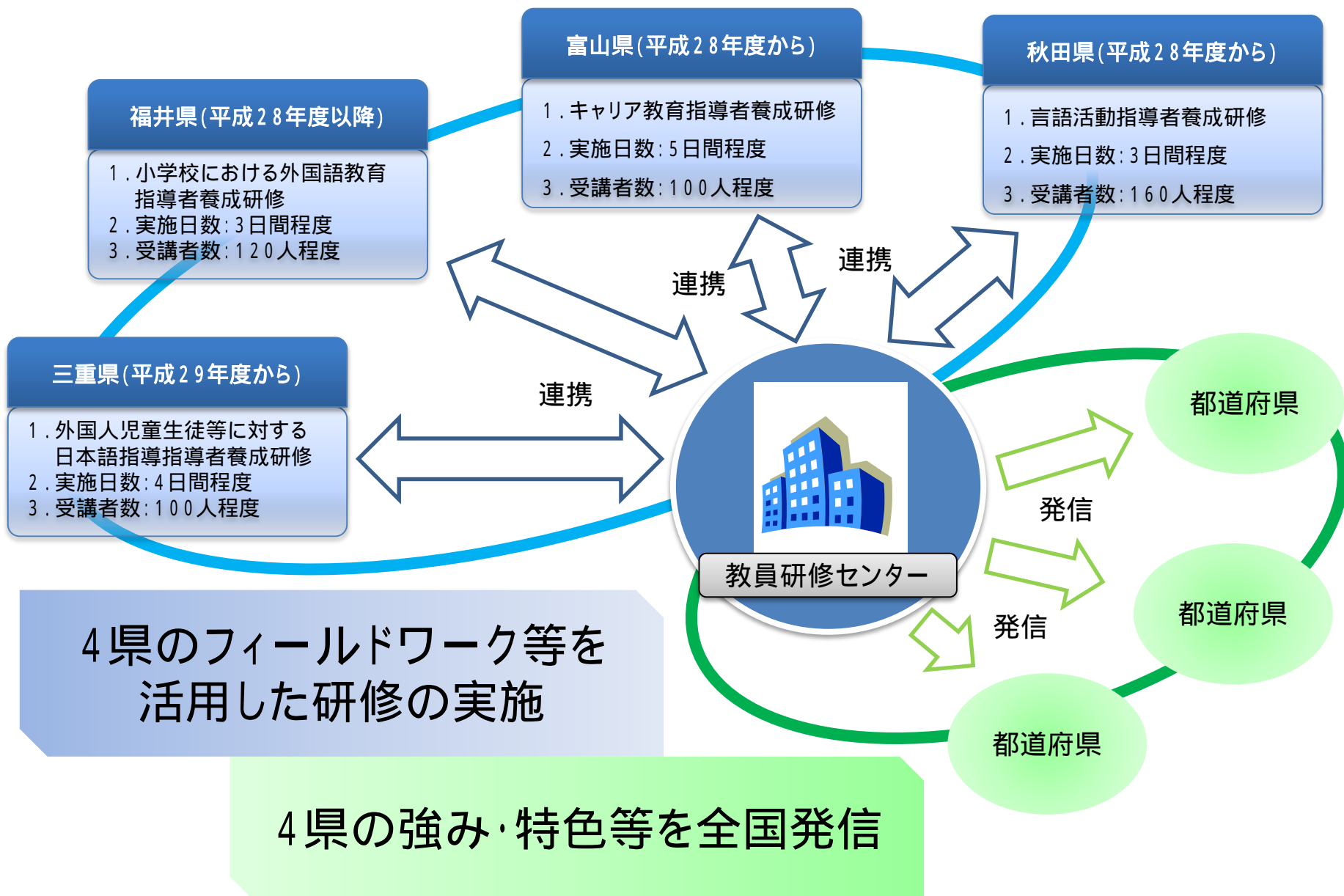
基礎から応用、実証化・普及までの研究
開発を体系的・計画的に実施

・開発調査センター

国が定める「海洋水産資源の開発及び利用の合理化を図るための基本方針」に基づき、海洋水産資源の開発及び利用の合理化のため、民間の漁船を用船して実際の操業や販売を行う実証調査等を実施。

各県の特徴を生かした新たな教員研修の仕組み

【独立行政法人教員研修センター】



がんのメタボローム研究分野の研究連携拠点の設置(イメージ)

【事業概要】

国立がん研究センター - 研究所のメタボローム研究分野の研究連携拠点を山形県鶴岡市へ設置し、がんの診断薬や解析技術等の開発に向けて、隣接する慶應義塾大学先端生命科学研究所のメタボロミクスを用いた高度解析技術を活用するなど、平成28年度以降、連携して研究を推進していくこととする。また、開発された診断薬や技術等を用いて事業化を進めていくことに向け、企業等の関係者と協同してベンチャー企業を設立することを含め、企業との連携を強化する。

国立研究開発法人国立がん研究センター



研究者の派遣等

連携協議会(仮称)設置



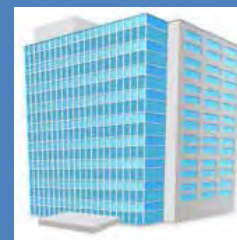
メタボローム研究連携拠点の設置 (鶴岡バイオサイエンスパーク内)

(メタボローム研究開発)
・がん診断薬の開発
・メタボロームを用いたがん本態解明

研究成果の事業化



ベンチャー企業



大手企業の参入



動物室の設置

慶應義塾大学先端生命科学研究所



・研究開発の支援
・ラボ施設の提供

福島イノベーション・コースト構想

○ ロボットテストフィールド・研究開発拠点整備事業

事業の内容

事業目的・概要（平成28年度予算案額 51.0億円）

福島浜通り地域において、福島県の重点産業であるロボット分野の地元中小企業や県外先進企業による産業集積を構築し、被災地の自立と地方創生のモデルを形成するため、以下を行います。

ロボットテストフィールド整備事業：無人航空機や災害対応ロボット等の実証実験が行えるテストフィールドの整備費を補助します。

研究開発等施設整備事業：テストフィールドでの実証結果を評価し、継続的な開発・実践活動を行うための施設整備費及び設備購入費等を補助します。

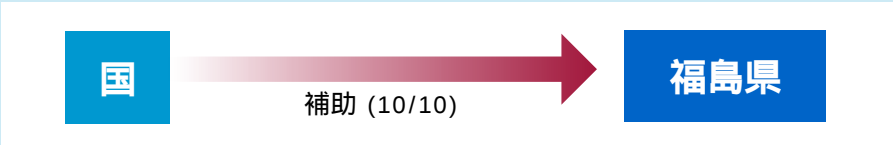
上記に加え、地元企業と県外先進企業等との共同開発を通じて地元企業のロボット技術向上を促すべく、福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金の地域復興実用化開発等促進事業による、ロボット・テストフィールドの活用を進めます。

上記 と の整備事業費（平成28年度と平成29年度の2年間で76.5億円）については、平成29年度に係る国庫債務負担行為（2年間）を措置します。

成果目標

平成29年度までに 及び を整備し、福島浜通り地域にロボット産業の集積を創出します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

ロボットテストフィールド整備事業

研究開発等施設整備事業



例：無人航空機



例：陸上ロボット



例：水上/水中ロボット



○ 共同利用施設（ロボット技術開発等関連）整備事業

事業の内容

事業目的・概要（平成28年度予算案額 21.7億円）

福島県浜通りにおいて、国内外の研究者、技術者、企業等の英知を結集するためにも、共同で研究を行い、イノベーションを創出する環境を整備していく必要があります。

ロボットは福島県の重点産業として位置づけられており、ロボット技術開発にあたっては、福島第一原子力発電所の作業等、人が入って作業することができない過酷な環境下等に対応するための高度で実践的な技術開発とともに、医療機器等その他の分野における技術開発等が求められています。

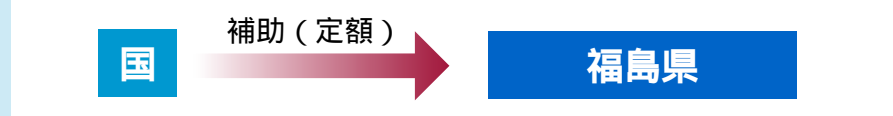
また、地元の中小企業等からも、ロボットに関する技術指導や試験設備の整備等が必要との声があがっています。

こうしたことから、福島県浜通り地域においてロボット分野等の先進的な共同利用施設の整備、設備等の導入等を行います。

成果目標

平成29年度までに施設を整備し、国内外の研究者が継続的に駐在し、基礎的・基盤的な研究を実施できる環境を整えます。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



施設整備費（平成28年度と平成29年度の2年間で58.2億円）については、平成29年度に係る国庫債務負担行為を措置する。

事業イメージ

共同利用施設のイメージ



国立健康・栄養研究所と新潟県との連携・協力イメージ

新潟県の提案

国立健康・栄養研究所



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院



南魚沼市等



情報
発信

疫学研究

医療
データ

南魚沼版
CCRC構想

調査分析

産学
連携

地域ネット
(米ネット)

疫学
研究

健康産業
関連企業

機能、資源の有効活用によるエビデンス創出・
人材育成・健康産業の活性化

国民の健康の保持、増進に貢献

対応方針

新潟大学を中心としたコホート研究の実績及び新潟県からの提案を踏まえ、国民の健康の保持・増進に貢献できるよう新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院との共同研究への検討について協議会を設け、連携の在り方について引き続き協議を行い平成28年度中に成案を得ることとする。

アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター研修所の設置（富山県）

- **富山県**（富山市）に、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の**支部を設置**し、同支部に、「**アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター**」（アジアトレセン）^{（１）}が行うGMP^{（２）}調査に関する研修を実施する、**研修所を設置**

- １ アジアトレセン： アジア諸国の規制当局の担当者に対し、日本の医薬品・医療機器等の規制制度等に関する研修を行うため、平成２８年度に独立行政法人医薬品医療機器総合機構（所在地：東京都千代田区）が設置する組織
- ２ GMP（Good Manufacturing Practice）： 医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理に関する基準

アジアトレセンが実施する主な研修メニュー（予定）

【国内研修】

医薬品・医療機器の審査、安全対策等の業務

GMP調査に関する業務（工場の立入検査等）

国際共同治験（臨床試験）に関する業務

【海外研修】

医薬品の審査、安全対策等に関する業務

個別のトピックに関するセミナー、シンポジウム

富山県
研修所を設置

富山県を拠点とする**医薬品の製造所において**、アジアトレセンが実施するGMP調査に関する**研修を充実**

アジア規制当局の要望に応じた効果的なトレーニング機会を提供し、アジア全体の医薬品・医療機器等の規制のレベルアップに貢献

国立医薬品食品衛生研究所及び富山県による 天然物医薬品分野での共同研究・研究協力の実施

国立医薬品食品衛生研究所
生薬部（東京都世田谷区）



- ・国立試験研究機関として、生薬、生薬・漢方製剤の品質確保と有効性に関する試験・研究、生薬資源に関する研究などを実施している。
- ・特に、セルフメディケーションに資する漢方薬・生薬の一般用医薬品への活用に向けて、生薬エキス等の規格・基準の検討に取り組んでいる。

連携

富山県 薬事研究所
（富山県射水市）



- ・全国唯一の都道府県で設置している薬事の研究所。
- ・様々な分析機器等が整備されており、生薬を始めとする医薬品の調査・研究を実施。
- ・また、県内医薬品メーカーへの技術支援や、県内医薬品産業等の振興に資する薬用作物の創出等に取り組んでいる。

共同研究・研究協力の内容

- ・国立医薬品食品衛生研究所が中心となって取り組んでいる、生薬エキス剤の規格に係る試験法の策定に、富山県薬事研究所が参加協力する。

期待される効果

- ・生薬を活用した一般用医薬品の国内開発が促進され、このような医薬品を活用したセルフメディケーションの推進により、国民の健康寿命の延伸につながることが期待される。
- ・富山県には、生薬を活用した和漢薬を製造するメーカーが多数所在しており、このようなメーカーにおける新製品の開発が促進され、県内医薬品産業の振興が期待される。

各県の特徴を生かした新たな教員研修の仕組み

【独立行政法人教員研修センター】

